第２６６回福島県災害対策本部員会議（概要）

災害対策本部総括班まとめ

１　日　時：平成 24 年 5 月 21(月) 16：00～16:10

２　場　所：第一特別委員会室

３　内　容：

（１）環境放射能測定結果（暫定値）の状況について

事務局：別紙資料により説明

5 月 21 日 12 時現在の状況について報告する。

直近の測定結果で、最小値は、下郷町の道の駅しもごう等の 0.04μSv/h、最大値は、大熊町の夫沢三区地区集会所の 37.23μSv/h となっている。

継続して測定を実施している地点については、おおむね横ばいまたは減少傾向を示している。

（２）福島県民向け電話相談窓口　週報について

オフサイトセンター事務局：別紙資料により説明

先週の相談件数は、209 件。

水道水や母乳の検査に関する問い合わせ、放射性物質に関する問い合わせ、食品を食べた時の放射性物質の計算の仕方ついての問い合わせ等があった。

（３）「農林水産業に関する相談窓口」の利用状況について

農林水産部長：別紙資料により説明

先週の相談件数は、13 件。

内容は、山菜やきのこなどのモニタリングに関する問い合わせが 6 件、野菜などの作付け、賠償に関する問い合わせが 2 件あった。山菜については、モニタリングの結果を毎日公表しているが、出荷制限の確認に関する問い合わせが多くよせられた。

また、野菜の作付けが可能かとの問い合わせがあり、作付け制限はされていない等回答している。

（４）「原子力損害の賠償等に関する問い合わせ窓口」利用状況について

原子力損害対策担当理事：別紙資料により説明

相談件数は、146 件。先週とほぼ同数であり、少なめの件数である。

中通り、浜通り地方の方からの問い合わせが多くなっている。

主な内容については、それぞれの賠償関係についての評価に対する不満、手続きについての問い合わせ、自主的避難の県南、会津に関する問い合わせが多くなっている。

（５）経営・金融・労働の相談状況について

商工労働部次長：別紙資料により説明

先週の相談件数は 24 件。先々週と比較して 9 件の増加となっている。

制度資金に関する融資要件についての相談、仮説住宅入居者からの就職相談があった。

（６）福島県環境放射線モニタリングメッシュ調査（第４回）実施計画について

生活環境部長：別紙資料により説明

メッシュ調査については昨年 4 月に 1 回目、8 月から 9 月にかけて 2 回目、今年にはいって 2 月から 3 月にかけて 3 回目の調査を行ったところである。時の経過による県内の汚染状況の変化を確認するために通算 4 回目のメッシュ調査を実施する。

原則として、2 ㎞メッシュ毎に 1 地点、県内約 2,800 地点を調査する。調査時期は今週からはじまって 6 月の中旬まで。今回の調査については、除染による影響がどのような形で広域的に現れているのか、気候や地形による影響がどのような形で現れているのかなどについても参考にしていきたい。

副知事から

今日、佐藤知事は双葉郡の８町村長と一緒に東京に行っている。総理大臣、官房長官、経済産業大臣、環境大臣、復興大臣、そして各政党に要請活動を行う日程になっている。内容は、双葉郡８町村と県、いわゆる８プラス１との関係で、今、国に対して様々な項目を要請しているが、それに対する回答、あるいはグランドデザインをしっかり示してほしいという話が１点、もう一つが企業立地補助金、これが非常に厳しい状況にあるので、予算を大幅に拡充してほしいといった内容を中心に要請活動を続けているところである。こういった結果も明日みなさんのところにお届けできると思うが、国との関係もしっかり作りながら、福島県の抱える課題をひとつひとつ解決をしていきたいと考えている。

次回会議は、5 月 28 日（月）9：30 から第一特別委員会室で開催する。